

当報告の内容は著者の著作物です。

東南アジアの文化と社会に関する講演会

Exchange Lecture on Culture and Society in Southeast Asia

主催 コタキナバル・リエゾンオフィス

共催 School of Social Science, University Malaysia Sabah, Kotakinabalu

日時 2012年2月16日(木) 14:00-17:00

場所 School of Social Sciences, University Malaysia Sabah(UMS)
Malaysia

Living a life with/beyond “Ajeg Bali”: a portrait of professional female Balinese Gamelan player “Bu Kocan”

伏木香織 (ジュニア・フェロー、ILCAA, TUFS)

要旨：

本 Exchange Lecture において報告したのは、バリ島社会において現在のところ唯一の存在である、プロの女性ガムラン奏者「Bu Kocan」が、いかにして「Bu Kocan」になり、「Bu Kocan」という現実を生きているのかを、社会的背景や Ajeg Bali (という概念、バリらしさを求め、文化・政治運動としてバリ社会に行われている一連の行動様式を含む) との関わりの中で描き出したものである。彼女の存在が、彼女の努力や彼女自身の生き方、行動によって成立し決められたのでもなく、また歴史的・社会的要因によってのみ成立し、存在するものでもないこと、そして彼女の存在がジェンダー論に還元されて論じられるべきものでもないことを、ひとりの特定の女性のライフ・ヒストリーに注目しながら解明することを試みた。

「伝統的に」バリ島社会では、女性がガムランを演奏すること、特に儀礼などの脈略にあつて、演奏組織を作り演奏することは期待されてこなかった。あるいは場合によっては Cuntak (穢れ) という概念のもと、忌避されてきたこともあった。1980年代に女性ガムラン奏者という、それまでの経緯からすれば社会的に矛盾する存在を集めて、女性にガムランを演奏させるという動きがバリ島社会内にあつてからも、家族、特に夫の援助(特に家計における収入を夫の収入に頼り、自らが稼ぐ必要がない)なくして、自らの演奏活動から家計収入を確保するようなタイプの、プロフェッショナルの女性のガムラン奏者は存在しなかった。しかしながら、「Bu Kocan」は、自らの演奏収入、ガムラン教授活動の収入によって家族を養う、唯一の女性として現在を生きている。

「Bu Kocan」がガムランのプロフェッショナルとなるためには、彼女の生まれ、生きた時代が大きく影響しているのは確かである。1965年(公的証明では1966年)に生まれた彼女は、個人的には激動の、運命に抗わなくてはならない人生を歩みながら、徐々に女性に対し開かれていく「ガムランを演奏すること」の可能性の波にのり、バリ島で初めて行われた女性ガムラン・コンクールに参加し、社会にガムラン奏者として、教師として参加

しながら、のちにアカデミックにガムランを学び直す機会を得た。彼女にとって幸運だったのは、その時期が、バリ社会全体が、経済的低迷から立ち直るべく「文化」概念を見直し、宗教とそれを取りまく生活一式を「文化」ととらえ、その中にバリらしきを見出そうとした **Ajeg Bali** という概念、文化運動が同時に起こっていたことである。彼女はそのなかでやがて、自らの学習、活動のそれぞれの過程でプロフェッショナルとしての、あるいは作曲家としての「証明」を手にし、女性がガムランをすることに対し後押しする **Ajeg Bali** とともに現出した生活世界を生きていくようになった。

しかしながら、彼女は **Ajeg Bali** が政治化するなかで、積極的にそれに賛同したり、参加したりすることはなかった。彼女は自分の人生が **Ajeg Bali** とともに有ったことは十分認識、承知しながらも、それに積極的に乗ることはなく、ただ目の前にある現実を生きる。すなわち彼女自身は、個としての存在のみを生きているわけでも、社会的存在としてのみ生きているのでもなく、「**Bu Kocan**」という現実をただ生きているのである。

歴史、社会における各種のイデオロギーや教義、ヘゲモニーが交錯するなかで、その存在を見つめ、認めつつ、それに積極的に戦うのでもなく、迎合するのでもなく、彼女という存在はその狭間に現実を実践する身体として形成され、それらの要素のエージェンシーの交錯は、「ガムランを演奏すること」を中心とする生活世界として、彼女の前に現前しているのである。